

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2023

2

vol.302

令和5年 福島県酪農業協同組合乳牛市場 新春初セリ開催される！！



TOPICS

- ・令和5年度生産者乳価引き上げ要請…………… ③
- ・ひまわりコンクール審査会開催…………… ②～③

令和5年 福島県酪農業協同組合乳牛市場 新春初セリが開催されました!

一月十三日(金)に福島県家畜市場(本宮市)で、令和五年 福島県酪農業協同組合乳牛市場新春初セリが多数の購買者・生産者にご参加頂き、開催されました。主催者を代表して紺野組合長より、「新型コロナウイルスとの攻防も四年目を迎え、国内では第八波が過去最大の感染拡大をもたらし、世界情勢においては、ロシアのウクライナ侵攻は、世界経済に甚大な影響を及ぼし、私たちの生活と経済活動に様々な形で表面化しています。その様な状況下の中、セリ市場においては関係者の皆様のご協力により、無事に新年を迎えることができました。また、生産者側として購買者の皆様



に喜ばれる子牛作りを行い、より一層活気ある市場を目指し、今年も運営して参ります。本年も宜しくお願致します。」と挨拶されました。また、新春初セリを祝い、購買者を代表して(尙上)野牧場様による乾杯のご発声を頂き、消費拡大として、『酪王牛乳』で乾杯致しました。

その後、初生牛二百一十六頭、初妊牛十四頭、経産牛一頭がセリで販売され、昨年と比べると、全国的に価格下落傾向ではありますが、全国平均並みで取引されました。

厳しい情勢下ではありますが、明るい未来を信じ、今後とも生産者・購買者の皆様にご満足頂けるよう、より良いセリ市場を運営して参りますので、宜しくお願致します。



福島県酪女性部 やまびこ会 主催 ひまわりコンクール審査会開催

福島県酪女性部やまびこ会(会長 中瀬 明美)では畜舎環境美化運動を行っており、毎年その成果を披露する機会として、写真によるひまわりコンクールを行っております。

今年も去る2月2日(木)福島県酪農業協同組合に於いて、令和4年度のひまわりコンクールの審査会を開催いたしました。

今年度も畜舎周辺の美化を目指した「畜舎環境の部」・「一般花壇の部」と「酪農生活の部」の計3部門で開催し、応募作品数は、昨年よりも少なかったものの、お忙しい中、寸暇を惜しんでの手入れのいき届いたことが伺える素敵な作品ばかりで、応募された方の努力の成果が伺えました。応募いただきありがとうございます。



東北酪農専門団体協議会

令和5年度生産者乳価引き上げ要請



令和5年1月23日に、東北の酪農専門農協で組織している「東北酪農専門団体協議会 会長紺野 宏（本組合代表理事 組合長）」は酪農情勢が過去に経験のない極めて厳しい状況を踏まえ、指定団体東北生乳販売農業協同組合連合会へ令和5年度生産者乳価の大幅な引き上げを会員組合長他12名により、要請いたしました。

紺野会長から東北生乳販連伊藤一成会長に「令和5年度生産者乳価引き上げについての要請書」により要請し、その後東北生乳販連と地域の情勢や乳価交渉の現状について情報交換いたしました。

令和4年度 ひまわりコンクール審査結果

〈畜舎環境の部〉

最優秀賞 県中 福田 祐子さん
ひまわり賞 県中 佐藤 恵美さん

〈一般花壇の部〉

最優秀賞 県中 佐藤 恵美さん
ひまわり賞 県中 味戸 巴子さん

〈酪農生活の部〉

最優秀賞 県中 福田 祐子さん

審査の結果、入賞者は上記の通りです。なお、次回の県酪だより 3月号へ、各部の入賞作品をご紹介します。



福島県酪農青年研究連盟主催！！ 第2回酪青連酪農後継者支援研修会開催



1月30日(月)に磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」において、福島県酪農青年研究連盟主催の第2回酪青連酪農後継者支援研修会を開催致しました。本研修会は、福島県による次世代酪農家育成・乳量UPチャレンジ事業を利用した研修会となっております。当日は酪青連会員、各農林事務所職員、福島県畜産課職員、全農・県酪職員等オンラインで参加した方を含め57名の方々が参加いたしました。

講師に、酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 草地・飼料生産学研究室 教授 三枝 俊哉先生をお迎えし、「自給飼料生産における施肥コスト低減策」題し、ご講演いただきました。

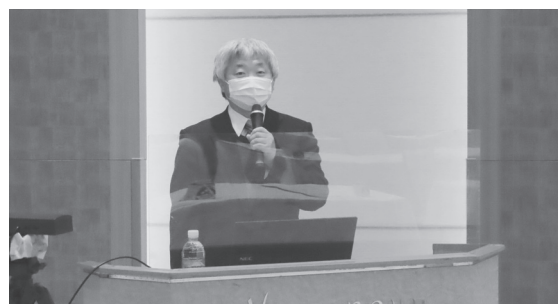
先生の講演は大変分かりやすく、参加者の方々は真剣に講演を聴講しており、講演会終了後にも積極的に自分から先生に質問されている方もいました。開催後のアンケートでは、自給飼料の増産における施肥改善に役立てたいという意見もあり、大変有意義な研修会と捉える方が多数いらっしゃいました。

次回は、3月1日(水)には福島県酪農フォーラム（発表者：柚原友加津さん）、第4回後継者支援研修会（牛群検定に関する研修会）を開催いたしますので、酪青連会員の方はぜひ奮ってご参加ください。

これからも酪農を担う若手酪農家、後継者の方にとってためになる研修会を企画しておりますので、是非ご参加下さいますよう、お願い致します。



福島県酪農青年研究連盟
斎藤 忠義 会長 挨拶



酪農学園大学 農食環境学群
循環農学類 草地・飼料生産学研究室
教授 三枝 俊哉 先生

販売課

生乳中の細菌数について②
～洗浄法について～

【洗浄法の基本】

ミルクシステム・バルククーラーの洗浄の基本は以下のとおりです。

- (1) 洗浄前の搾乳終了直後、残乳をエアで回収。その際、スポンジは使わずに!! (細菌の巣!)
- (2) 回収できない残乳を排泄する。
- (3) 水の混入を避けるため、タンクから牛乳管を切り離す。
- (4) 使い捨てミルクフィルターを毎回交換する。
- (5) 搾乳装置の外側すべてを洗浄する。

これ以後の工程は図1のとおり。

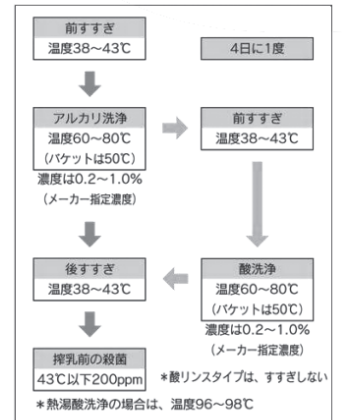


図1 ミルクシステム・バルククーラーの適正な洗浄方法 (白坂 1999)

【特に注意すべき点】

- (1) 洗剤を正しく計量。
- (2) 洗剤の役割を正しく理解。
・酸洗浄の時も必ずアルカリ洗浄を実施。
※アルカリ洗浄は脂肪や蛋白質の除去、酸洗浄はミネラルの除去のため、どちらも必要。
・洗浄不良となりやすい部分やバケツミルクカーは分解手洗浄 (図2)。
- (3) 殺菌剤は正しい濃度で。市販次亜塩素酸ソーダを正しく200ppm (6%溶液なら300倍希釈) に希釈。
- (4) 殺菌剤との接触時間は3分以上。
- (5) 洗浄温度は60~80℃、すすぎ温度は40℃以上で。冬季の温度低下に注意。
- (6) ライナーやロングミルクチューブの汚れに留意。
- (7) プラスチック製品の傷の有無に注意。⇒ステンレス製に交換(細菌の巣を作らないために)。
- (8) バルククーラーは集乳後、直ちにすすぎ洗浄。
- (9) 排出口コック部分を毎回分解洗浄。
- (10) 密閉式バルククーラーの内部を覗こう。マンホールのゴムパッキン、攪拌機とその陰、タンク底、排出口などの汚れはないか?
- (11) インラインフィルターは毎回交換。
- (12) バルククーラーの温度計も確認。結構、誤差がある可能性がある。

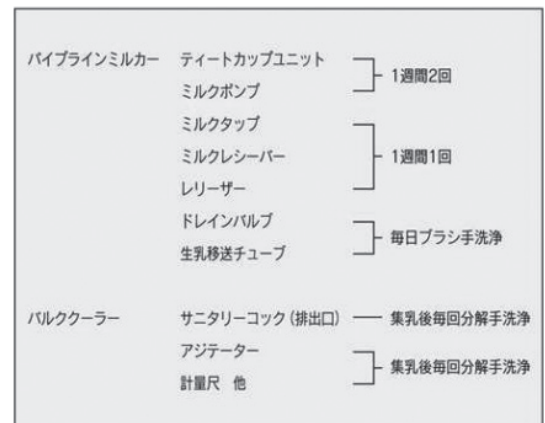


図2 分解手洗浄の実施箇所 (白坂 1999)

以上の点に留意し、常に細菌数1万/ml以下を維持しましょう!

日々の作業確認と生乳生産管理チェックシートの記帳が生乳廃棄事故防止にも繋がりますので、今一度、記録状況をご確認下さいますようお願いいたします。

全酪連の小窓 2月号 ~乳成分MUN~

寒さが一段と厳しくなってきました。牛も人もエネルギー補給が必要です。今月は先月に引き続き乳成分、MUNについてご説明します。MUNは牛が利用するエネルギーのほかに、ルーメン微生物が利用するエネルギーも考えなければなりません。MUN値が大きく動いた場合、飼料中の蛋白が足りないのか、ルーメン微生物のエネルギーが足りないのか一緒に考えてみましょう。

MUNとは？

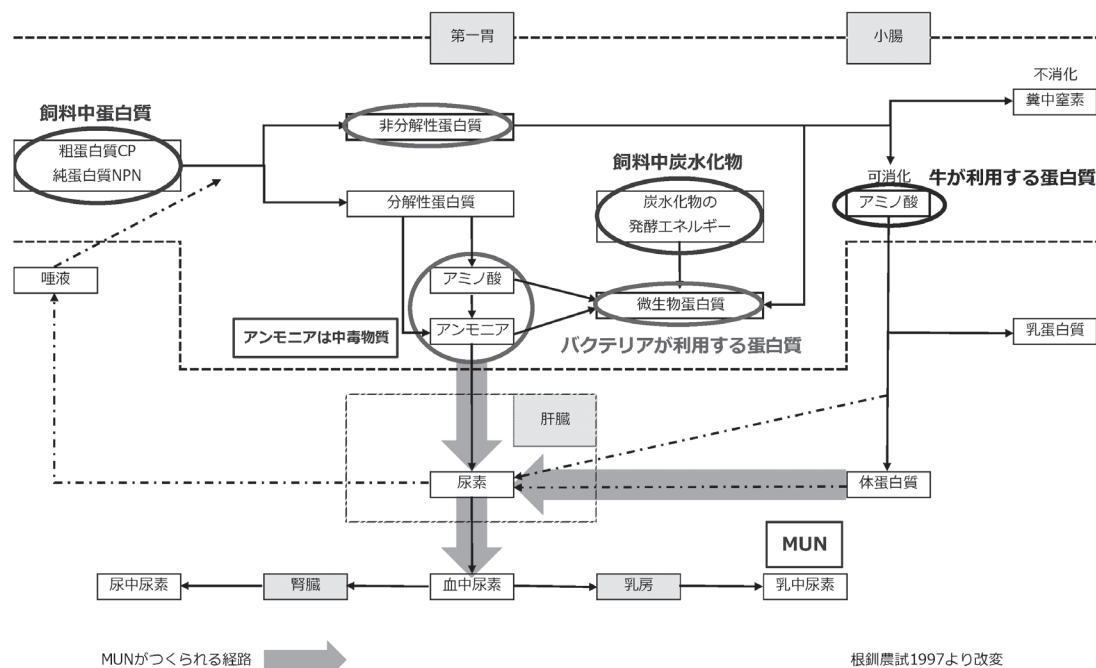
第一胃（ルーメン）では、微生物（プロトゾアなど）が飼料由来の蛋白質をアンモニアに分解し、微生物蛋白質を経てアミノ酸として利用しています。余ったアンモニアは肝臓で尿素となり、尿・乳を通して体外へ排泄され、このうち生乳中に移行したものがMUN（乳中尿素窒素）になります。

MUNは飼料中の蛋白質（特に分解性蛋白質）とエネルギー摂取のバランスを知ることができ、牛の栄養状態を把握することができるモニタリング項目です。

MUNは以下のように変動します。

- ◎飼料中の蛋白質が過剰↑、微生物蛋白質合成のためのエネルギーが不足↓
⇒MUNが高く推移
- ◎飼料中の蛋白質が不足↓、微生物蛋白質合成のためのエネルギーが過剰↑
⇒MUNは低く推移

牛が食べた飼料からMUNが生成されるまでの流れが以下の図になります。



根拠農試1997より改変

MUNと乳蛋白率から給与内容を判断してみましょう！

毎月の検査での乳蛋白率とMUNの結果を下の表に当てはめてみてください。

区分		MUN (mg/dl)		
		～7	8～12	13～
乳蛋白率 (%)	3.6～	A区 エネルギー過多 蛋白不足	B区 エネルギー過多	C区 エネルギー過多 蛋白過多
	3.3～3.5	D区 蛋白不足	E区 適正範囲	F区 蛋白過多
	～3.2	G区 エネルギー不足 蛋白不足	H区 エネルギー不足	I区 エネルギー不足 蛋白過多

～各区の対応策(例)～

A区: 蛋白質含量の高い粗飼料を増給し、NFC (炭水化物) 濃度を下げる。

B区: 濃厚飼料の給与量を落とすと同時に粗飼料とのバランスを見直す。

C区: 蛋白質飼料との濃厚飼料の給与量を下げて粗飼料とのバランスを計る。

D区: 蛋白質濃度を上げるために粗飼料 (グラスサイレージ、アルファルファなど) または濃厚飼料 (大豆粕等) を増やす。

F区: 蛋白質含量の高い飼料を低減しエネルギー含量の高い飼料を給与する。

G区: 良質粗飼料の給与、濃厚飼料の増給など総乾物摂取量 (DMI) を増やす。

H区: NFC (炭水化物) 濃度を上げる。エネルギー含量の高いトウモロコシサイレージや濃厚飼料を増給する。

I区: 蛋白質含量の高い飼料の給与を減らしトウモロコシサイレージ等のエネルギー含量の高い飼料を増給する。

* 注意 *

○飼料内容を見直す前に、牧場において牛の採食環境が整っているかどうか確認して下さい。

○一時的・断片的に比較せず、種々の構成要素を検討することが不可欠です。

○MUNだけで判断せず、BCS・糞の状態・毛づや等を確認し、乳量・乳成分と連動して検討して下さい。

給与方法や給餌メニューでご不明点ありましたら、全酪連スタッフや県酪職員へご相談ください！

ZENOAQ コーナー Vol.218



寒さが 子牛の発育を妨げる②

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL0120-452-464 FAX0120-661-255

今回も外部環境が子牛に与える影響と対策について話題提供させていただきます。

Vol.217で、少し触れましたが、子牛の臨界低温は、21日齢以下では15℃、21日齢以降は5℃、環境温度がそれ以下になると、生命を維持するために余計なエネルギーが必要となります。

スターターは栄養だけではない。

なぜ21日齢を境にして5℃まで子牛は耐えられるのでしょうか?前回で触れましたが、牛はルーメン発酵から熱を得ることができます。子牛は、生まれてから21日、つまり3週間でルーメンが固形物を消化し始めます。この消化発酵熱があるので、5℃まで耐えることができます。このようにスターターの摂取は栄養面だけではなく、自分の体を温める燃料としても非常に重要なのです。でも、3週間でいきなり子牛はスターターの摂取を始められるわけではありません。

いろいろな読み物の中には、生後2日くらいから少しでも口の中へ入れて慣れさせるなど様々な工夫がありますが、今回は実際に私の過去担当していた農場での工夫を1つ紹介します。

北海道別海町の酪農家ですが、通常バケツにスターターを入れて食べさせることをしていましたが、バケツに鼻っ面を入れる行動は子牛にとって恐怖という話を聞いた農場が写真の様にバケツを上げ底して少しでも子牛がスターターを食べ易いようにしていました。



写真① 底上げしているバケツ



植木鉢のお皿を代用

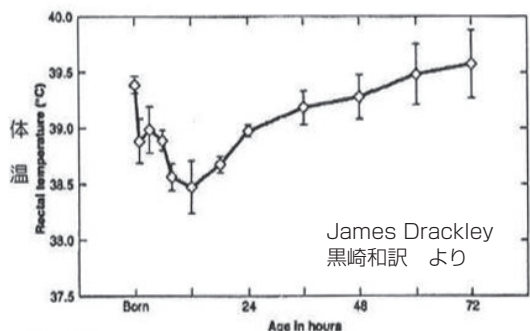
また、スターターを思う通り食べてもらうには水の存在は不可欠です。生後2~3週齢の子牛に水を給与していないことが、スターター摂取を制限しているかもしれません。その理由として、水とスターター摂取量には4:1の比率があるからです。つまり、スターター1kgを摂取するには、4Lの水が必要となります。確かに、子牛は代用乳を通じて水分を得ることができますが、少しでも多くのスターター摂取量を高めるにはそれだけでは十分ではありません。

水の温度も重要です。ルーメンを冷やさない温度が必要です。冷たい水よりも温かいお湯のほうが子牛もより多くの水を飲むようになり、何より冷水で冷えたルーメンを元の温度に戻すだけでも、より多くのエネルギーを使わなければならないことに注意しなければなりません。(前号参照)

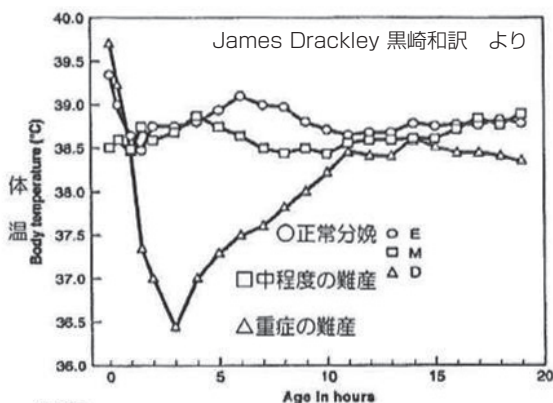
分娩後の体温の低下に注意。

子牛は誕生時に、呼吸の開始、体温の維持、母親から直接栄養が来なくなる、低酸素症とアシドーシス、コルチゾールの高値による免疫抑制といった多くのストレスに直面します。

生まれたばかりの子牛が体温を維持することは、とても難しいのです。寒冷ストレスがない条件下の健康子牛でさえ生後12時間までに1℃下がり、生後2日までに徐々に上がって39.5℃になります。(図①)

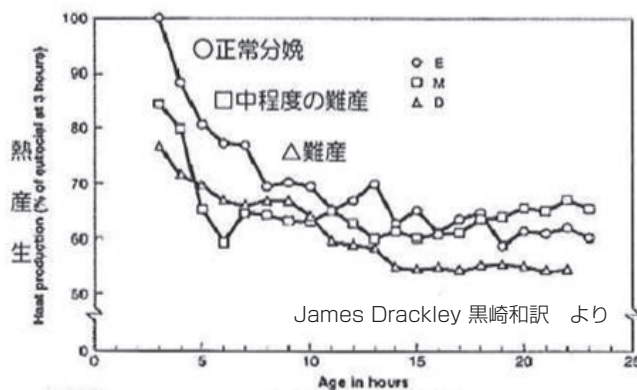


図① 生まれてからの時間



図② 生まれてからの時間

また、難産は体温と熱生産を低下させます。(図②③) 難産は、不適切な助産によっておこるかもしれませんし、死亡率を増加させ、体温調整能力や生存能力の低下、初乳からの免疫グロブリンの吸収能力を低下させ、低酸素症と呼吸性アシドーシスを引き起こします。



図③ 生まれてからの時間

農場でできること

生まれたばかりの子牛の体温が下がり過ぎないために、濡れた体を拭くか親牛に舐めてもらいます。濡れた体が乾く時に体温が奪われるので、早く乾かす必要があります。拭かれたり舐められたりする刺激により、血液循環と腸の動きが良くなり、胎便の排出が促進され活気が出てきます。その後体温を維持するために乾燥した温かい場所に移動します。

最近では、写真のような乾燥機が入ったカーフハッチ型の保温ハッチも発売されています。

(写真提供 (株)オカダイナストーリー様) ○

参考文献：ホーズデリヤマン 第317号 (2013)

マネージメント情報 2013年5月号



令和4年度12月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、前年より7円54銭6厘上回る単価となりました。

全国の新型コロナ感染者数が減ることが、人・物が今までとおり動き出し、経済も回復し、結果、牛乳・乳製品の消費回復と乳価が上がることにつながっていきます。新型コロナウイルスの感染者数ですが、国内感染者は22日、新たに6万3846人が確認されました。前週の同じ曜日（15日）より4万3295人減り、全国で発表された死者は240人でした。福島県内においても、6日ぶりに千人を下回りましたが、まだまだ油断できない状況が続いていますので、引き続き感染症対策を徹底し、皆さんで新型コロナが終息するまで頑張りましょう。医療従事者皆様のご苦勞に深く感謝申し上げます。

- 東北全体プール乳代金 4,419,687千円 単価115.513円
- 内 福島県分プール乳代金① 486,389千円 単価115.513円
- プール対象外乳代金② 85,874千円
- (学乳向け・買取向け乳代金)

合計乳代金①+② 572,262千円 単価119.102円

項目	令和4年12月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	115円354	107円695	7円659	109円792
補給金単価	1円395	1円481	-0円086	1円128
集送乳調整金単価	0円437	0円464	-0円027	0円345
合計	117円186	109円640	7円546	111円265

(注) 上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体12月)

用途別	販売乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)	シェア(%)	前年度シェア
飲用向け	25,190	813.0	97.5	62.3	61.8
加工向け	5,795	187.0	89.9	14.3	15.4
学校給食向け	2,148	69.0	95.5	5.3	5.4
醗酵乳向け	6,175	199.0	99.8	15.3	14.8
生クリーム向け	945	30.0	105.1	2.3	2.2
チーズ向け	156	5.0	96.9	0.4	0.4
合計	40,409	1,303.0	96.7	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

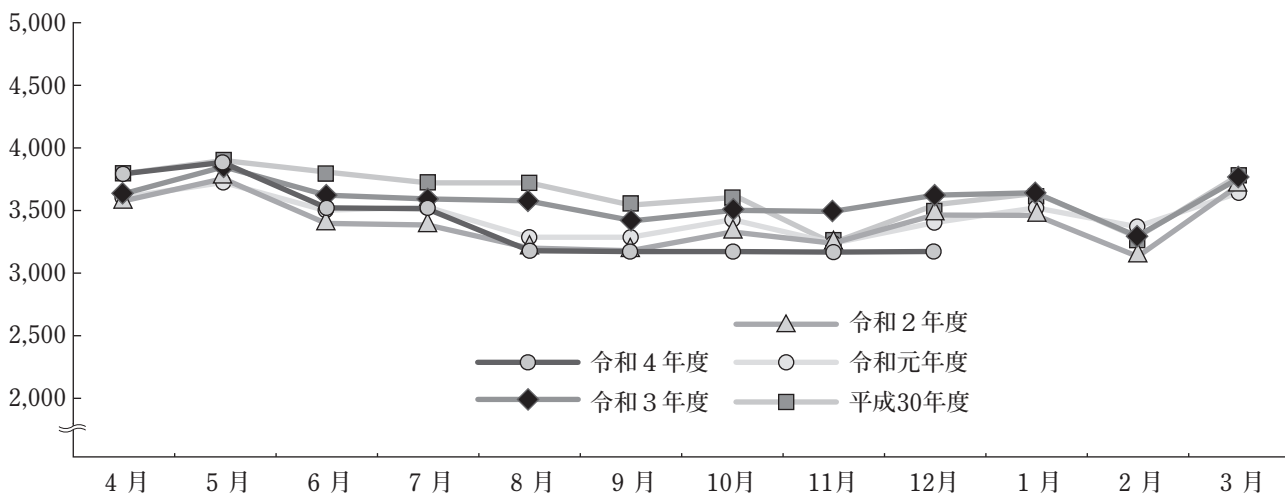
北海道：94.5%、都府県：96.7%

団体名	12月分		
	受託乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)
県酪協	3,324	107.2	91.9
全農福島県本部	1,481	47.8	94.1
合計	4,805	155.0	92.6
東北生乳販連	40,409	1,303.5	96.7
全国	580,684	18,731.7	95.4

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	3,865	3,927	3,768	3,758	3,757	3,565	3,617	3,385	3,572	3,687	3,369	3,818	44,091
令和元年度	3,661	3,736	3,526	3,528	3,380	3,391	3,495	3,349	3,477	3,589	3,442	3,735	42,310
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363	3,310	3,458	3,341	3,505	3,549	3,268	3,723	41,874
令和3年度	3,693	3,859	3,629	3,599	3,564	3,486	3,578	3,515	3,619	3,652	3,353	3,760	43,307
令和4年度	3,691	3,733	3,494	3,434	3,305	3,255	3,354	3,210	3,324				
前年比%	99.9	96.7	96.3	95.4	92.7	93.4	93.7	91.3	91.9				

単位・トン



令和4年度受託乳量の状況

令和4年12月の受託乳量は、県全体で前年比92.6%の実績でありました。
 団体別の受託乳量は、本組合が3,324ト、前年比91.9%（対前年同294ト減）、全農県本部は1,481トの対前年比94.1%

（対前年同月92ト減）の実績でありました。
 東北生乳販連の受託販売実績については、前年比96.7%となりました。
 なお、全国の受託実績は対前年比95.4%となりました。

令和4年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で生クリーム向けが105.1%と上回り、飲用向けが97.5%、加工向けが89.9%、学校給食向けが95.5%、発酵乳向けが99.8%、チーズ向けが96.9%と下回って推移しました。
 引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。酪王協同乳業では11月1日に、新商品『抹茶オレ』を発売しました。抹茶は文久元年（1861年）創業、160年の歴史をもつ老舗卸茶問屋「北川半兵衛商店」が厳選した宇治抹茶を100%使用し、宇治抹茶の魅力である豊かな香り、鮮やかな緑色を最大限に生かすため、香料・着色料不使用で仕上げた、ミ

ルクのまろやかなコクに宇治抹茶の繊細な風味が溶け込む、絶妙な味わいの抹茶オレです。シリーズお馴染みの三角ロゴとフランス語はそのままに、日本の伝統文化であるお茶の世界観を表現した、和と洋が融合したパッケージも必見です。県内各スーパー、コンビニエンスストアなどでお求めいただけます。ご愛飲いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、今月の酪王乳業の生乳使用量は日量平均41.2ト（前年比96.6%）で、本組合生産量の38.5%、県全体生産量の26.6%の処理量となりました。

年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	109.973	110.973	112.420	111.282	110.437	112.872	112.484	120.128	117.186				
令和3年度	110.502	111.609	113.060	111.724	110.197	112.507	112.537	112.319	109.640	110.594	110.503	109.010	111.184
令和2年度	108.959	110.268	113.694	113.625	112.257	114.269	113.489	112.845	111.265	111.109	112.190	109.876	111.986
令和元年度	107.825	109.442	110.235	109.707	109.001	110.834	113.758	112.804	110.935	111.470	112.026	108.238	110.523
平成30年度	105.316	106.566	107.245	106.734	104.684	108.041	107.673	107.183	104.902	105.545	106.664	104.358	106.242

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和4年12月31日

地区	酪農家戸数			乳牛頭数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経産牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県北	戸 28	戸 35	% 80.0	頭 424	頭 204	頭 162	頭 337	頭 823	頭 1,322	頭 1,950	頭 2,121	% 91.9	頭 69.6
県中	54	63	85.7	266	133	178	330	794	1,302	1,701	1,887	90.1	31.5
浜	7	7	100.0	94	39	25	57	120	202	335	341	98.2	47.9
県南	36	40	90.0	582	260	235	523	1,069	1,827	2,669	2,861	93.3	74.1
合計	125	145	86.2	1,366	636	600	1,247	2,806	4,653	6,655	7,210	92.3	53.2

地区	月別分娩予定頭数							生乳出荷戸数	販売乳量			
	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月	令和5年4月	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月		地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
	1日当り	1日1戸当り	搾乳牛	経産牛	kg	kg	kg		kg			
県北	頭 90	頭 96	頭 111	頭 102	頭 75	頭 82	頭 147	戸 25	kg 32,562	kg 1,302	kg 28.1	kg 24.6
県中	111	88	95	57	74	60	156	54	27,015	500	24.0	20.7
浜	19	13	11	11	18	19	30	7	5,235	748	29.6	25.9
県南	183	117	143	122	117	118	218	34	42,501	1,250	26.7	23.3
合計	403	314	360	292	284	279	551	120	107,313	894	26.5	23.1

第327回 県酪協乳牛市場成績

令和 5 年 1月13日開催

購買者数 30名 (うち県外14名)

区分	畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛 初生牛	ET和牛	メス	7 (100)	379,000 309,000	340,143 (98)	100 (128)	3,387 (76)
		雄	16 (100)	502,000 123,000	374,688 (97)	102 (97)	3,689 (100)
	乳 牛	雄	45 (92)	48,000 1,000	18,778 (54)	76 (104)	248 (52)
	交 雑 牛	メス	55 (96)	175,000 1,000	82,545 (131)	75 (101)	1,104 (129)
		雄	75 (100)	244,000 1,000	100,160 (110)	78 (100)	1,282 (110)
経 産 牛			1 (100)	255,000 255,000	255,000 (142)		
初 妊 牛			13 (100)	460,000 250,000	364,231 (170)		

価格：円（落札価格） 率・比：% 体重：kg

初生牛・妊娠牛・搾乳用雌子牛の価格帯別分布表（0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。）

畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																								
		11	12	~	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	~	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54
ET和牛	メス				1		2		2	1		1														
	雄		1						1	3	4	1	1	1	1		1					1	1			
乳 牛		0<	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	メス																									
交 雑 牛		<0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	メス	2	2	2		6	6	4	3	3	5	5	8	5	1			2	1							
		<0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	雄	4			1	1	3	3	9	7	15	4	9	5	4	1	2	1	2	2				1		1
価格(万円)		<5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
経産牛																							1			
価格(万円)		<25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
初妊牛		1			1				1		1	2	2	1				1	1		1		1			

組 合 の 動 き 1 月

1月11日	酪王協同乳業(株)地鎮祭	1月26日	第9回理事会
1月13日	乳牛せり市場	1月26日	令和4年度酪農政治連盟福島県支部 連合会三役会
1月13日	東北生乳販連事業推進委員会	1月27日	全国畜産配合飼料価格安定基金理事会・ 評議員会 (WEB)
1月17日	福島県乳牛改良推進協議会第3回幹事会	1月27日	東北酪青女第1回委員会
1月18日	FD24会第2回役員会	1月30日	福島県農業振興公社理事会
1月19日	臨床研究会	1月30日	酪青連第2回後継者支援研修会
1月23日	東北酪農専門団体協議会要請活動	1月31日	第10回経営検討会
1月24日	福島県農業会議第83回常設審議委員会		
1月25日	郡山市観光交流振興公社理事会		

理 事 会

第9回 令和5年1月26日

議 案

報告事項

- 第1号議案 令和5年度乳価構成テーブルと細菌数・
体細胞数の乳質格差並びに自主規制実
施要領について
- 第2号議案 役員賠償責任保険の更新について

- (1) 木目澤次男・久實子さんご夫婦 緑白綬有功賞
受賞祝賀会の開催
- (2) 今後の日程について

令和4年度 異動等辞令交付

(令和5年1月31日付)

氏 名	事 由	新 任
門 馬 大 樹	依 願 退 職	経営管理部経営管理課
近 内 め ぐ み	依 願 退 職	生産部購買畜産課哺育センター

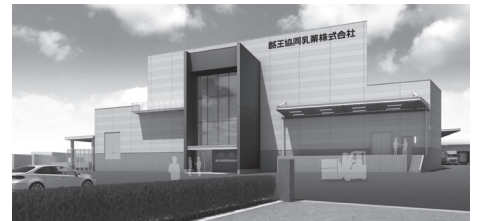
酪王協同乳業本社工場生産量増強計画工事 地鎮祭



令和5年1月11日(水)酪王協同乳業本社に於いて、本社工場生産量増強計画工事の地鎮祭が「開成山大神宮 権禰宜 宮本憲一様」により執り行われました。

地鎮の儀、玉串奉奠等を執り行い、施主である、福島県乳業再編協議会 会長 紺野宏様（福島県酪農業協同組合代表理事組合長）が挨拶を申し上げ、福島県農林水産部畜産課 課長 本多巖様の祝辞があり、工事の安全を祈願致しました。

令和3年10月1日、酪王乳業と東北協同乳業が、乳業の再編統合により効率的な乳業施設の整備を行い、牛乳の需要維持・拡大に取り組むことにより、福島県や東北における中核的な農系乳業をめざし、生産者の手取りに将来的に渡り貢献する事を基本的な考え方によって合併をしました。基本的な目的である酪王協同乳業本社工場の生産能力を増強して効率的な乳業工場の整備を行う事のこの度の地鎮祭であります。



指導推進課の紹介

部署紹介

指導推進課は担当地区をメインに、案件に応じて複数人での対応も実施しながら、各課と連携し、経営指導、生産指導業務全般を行っております。

- ・経営指導業務（経営分析、設備投資、経営計画、資金借入、経営再建、税務申告等）
- ・生産指導業務（飼料設計、自給飼料、搾乳衛生、カウコンフォート等）
- ・研究会事務局

担当職員は以下の通りです。

指導推進課 課長 安齋 明德 : 指導推進課統括、県南・東石・他全域
 主任 岡野 巧 : 県北・安達・浜（南相馬）
 坂本 あゆみ : 県中・田村・小野・会津・浜（川内・いわき）
 根本 美和子 : 派遣（指導員補助、DMS 他各種事務）



元ラグビー日本代表 大野 均 さん 来組 現役引退のご挨拶に、来ていただきました



1月24日(火)に、元ラグビー日本代表 大野 均さんが、現役引退のあいさつに福島県酪農協へ来組されました。

現役引退は2020年5月でしたが、新型コロナウイルスの影響により、なかなかあいさつに伺えなかったとのことで、今回、訪問いただくことが叶いました。

現役引退後は、東芝ラグビー部の普及担当として、ラグビーの魅力発信、子供たちへラグビー指導、県内外での講演活動等も行う日々で、引退後も、ラグビーに関わり活動されております。

2019年に、日本でラグビーワールドカップが開催され、大いに盛り上がった記憶は、まだ、皆さんも忘れてはいないかと思いますが、4年に1度開催されるラグビーワールドカップが、今年9月にフランスで開催されます。「ぜひ、2019年のように盛り上がってほしい」と、お話しされていました。

最後に、大野 均さんへ、現役お疲れ様でしたの気持ちを込めて、花束をお贈りし、その際、身長の高さに「おおきーい!!」「うわー!!」という歓声が聞こえてきました。

大野 均さんの更なるご活躍をお祈りしております。

大野 均 さん

- ・ワールドカップ 3大会連続出場
(2007・2011・2015年)
- ・日本代表歴代最多98キャップ
2004年に日本代表初キャップ獲得し、2016年に98キャップ
(最多キャップ記録を更新している)



大野 均さんと懇談される佐藤常務



花束贈呈

『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由 (ほっと(^o^)/する話題がいいですね)
 - ◎文章だけでも結構です。
 - ◎写真があると最高です。
2. 受付 (常時受け付けしています)
 - メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
 - E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp**
 - F A X : 0243-33-1103**